

寄付をいただいた皆さん

- ・宝塚園芸福祉協会
- ・秋澤辰弥
- ・掛水須美枝
- ・金谷信子
- ・山口一史

(順不同、敬称略 期間:2019年9月21日~2019年12月15日まで)



ご支援ありがとうございました。

(認定)宝塚 NPO センター会員募集・継続のお願い

宝塚 NPO センターは、「市民が市民を支える社会」を作るために、市民活動の支援をしています。人がつながり仲間になる、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。

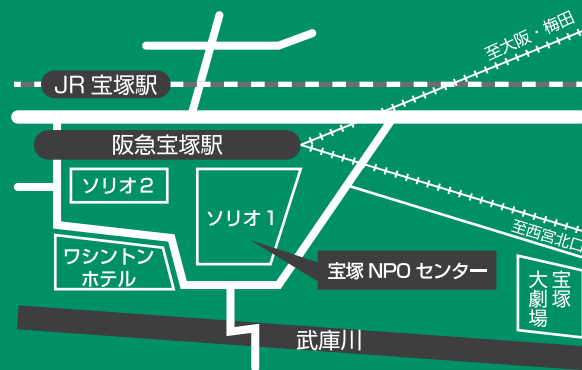
※認定 NPO 法人への寄付は税制面で優遇されます。

会費

個人正会員	団体正会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
	10,000 円	30,000 円	3,000 円

振込先

	銀行振込	郵便振替
銀行名	三菱UFJ	
支店	宝塚支店	
口座番号	普通預金 3629422	00930-8-77117
力ナ	トクテイヒエイリ タカラツカエヌピーオーセンター	タカラツカエヌピーオーセンター
口座名義	(特)宝塚 NPO センター	宝塚 NPO センター



(認定)宝塚 NPO センター

〒665-0845
 兵庫県宝塚市栄町2-1-1
 ソリオ1-3F
 TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799
 E-mail: zukanpo@hnpo.net
 URL: http://hnpo.net/
 駐車場: ソリオ1...30分 200円

発行人: 中山光子

宝塚 NPO センターニュース

TAKARAZUKA NPO CENTER NEWS

市民の手で市民活動を支える

101

このニュースの編集、発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています

2019.12

仲間と一緒に「明るく森づくり」を取り組む

宝塚 NPO センターは
メールマガジンを月 1 回配信しています

✉
 zukanpo@hnpo.net
上記アドレスに「配信希望」とご連絡ください

みなさまの寄付で支えられています

http://hnpo.net/support/
認定NPO法人は寄付をすると税金が戻ってきます

櫻守の会 代表 近藤 茂



宝塚NPOセンターの事業紹介

宝塚NPOセンターで取り組む事業は多岐にわたります。それぞれの事業に、宝塚NPOセンター「なら・で・は」があります！

▶ ひょうごアドプト推進事業

ひょうごアドプトとは県が管理する里山・河川・道路などの活動区域の清掃美化活動を行うボランティア団体と兵庫県が協定し、活動を通じて参加型の地域づくりを推進する事業です。宝塚NPOセンターは阪神北地域の41団体を事務局として支え、アドプト団体への資材提供や意見交換等を行い、より良い活動ができるようにしています。

民間が事務局を担っているメリットの一つは、資材の仕入れ先などは独自に開拓し、質の高いものを安価で提供できることです。例えば花苗は、植木の町 宝塚の市民団体が市場に出ている価格より安価で調達してくれています。一般の業者に依頼するのではなく、市民活動団体に依頼することにより団体の活動資金となる。このことも私たち中間支援NPOがこの事業を担っている意味でもあります。

ますます地域のつながりが希薄になるなか、アドプト活動を通じ地域のつながりが出来ることのお手伝いができるように、アドプト団体の事務局としてますます今後も努力し支援していきます。



● 協働の場づくり

<きずなの家事業>

「地域の中に新しいつながりが生まれる場所」

宝塚市のきずなの家事業で運営している「きずなの家KaRuTa」のコンセプトは、みんなのリビング。リビングでホッとする、外であったことを話す、集う。常連のお客様に皆で「ハッピーバースディ」を合唱するなど、普通のカフェでは見ることができない光景がここでは日々生まれています。

また、もう一つの側面として働きにくい若者のボランティア体験の場にもなっています。閉店後の掃除、伝票の整理、売上管理などを実際に体験することで、仕事への不安が軽減し一歩踏み出すことができ就職した若者は少なくありません。その他、月に2・3回顔を見せる若者がいます。待ちかねていたようにシニアの方々と彼とのスマートフォン学習会がスタート。この様子を見守るのは、シフトを組んで活動している9名のボランティアさんたち。スタートしてから4年の年月を経て、この場は「誰でも参加することができるコミュニティ」になりつつあります。ドアを開けてみてください。このカフェには「孤立」という言葉はありません。



リビングのようにすこせる場所



いつも盛況な朗読カフェ



月1回、健康リンパ体操を開催



若い人も集まっています

コラム

「里山整備活動を通して健康維持と地域への貢献」



森林ボランティアグループ「櫻守の会」は、名前が示す通りの桜が大好きな仲間の集まりです。発足は1999年に武田尾の廃線ハイキングコースの隣に作られた宝塚市の里山公園「桜の園」が開園した時なので、設立20周年を迎えました。以後「桜の園」の園内整備は「櫻守の会」が中心になって行っていて、来園した皆さんから「とても歩きやすくなった。ご苦労さま。」と書いていただけるととても励みになります。

その後、活動地は宝塚市内の5ヶ所に増え、月に8回の里山整備活動行っています。活動地はいずれも兵庫県又は宝塚市管轄の里山公園であるため、ハイカーや地域住民の方などの園内訪問者の安全対策（園路・広場の整備）、明るい森づくり、自然種の桜の植樹と育成、環境体験学習支援などの活動を行っています。

現在会員数は113名で、活動に参加している会員は毎回20名程度です。平均年齢73歳の集団ですが、皆さんとても元気で、自分より歳上の方が活動している姿を見て「元気をもらおう」と言っています。適度な運動をすることで健康維持を図りながら、市民の皆さんに少しでも貢献出来たらと思って里山整備活動を行っています。

櫻守の会 代表 近藤茂(こんどうしげる)

取材に行ってきました

「桜が好きで、体を動かすことが好きな仲間が集まっている」

「櫻守の会」は森林ボランティア団体です。発足から20年を迎え、現在は宝塚市内の5カ所で活動されています。宝塚NPOセンターが事務局を務める「ひょうごアドプト」の登録団体でもあります。代表の近藤茂さんにお話をうかがうために、武田尾にある活動地「桜の園」を訪問しました。

「メンバーそれぞれが自分のペースで活動に参加」

桜の園は、櫻守の会発足の地。元々は桜の研究者 笹部新太郎氏の演習林「亦楽山荘」だった場所。その地が遺族からの寄付と市の購入により、桜の園として再出発しました。この再出発を記念して行われた山桜植樹会に参加した方々が中心になって立ち上げたのが櫻守の会です。現在の会員数は110人強。整備活動に参加される方他に、体力的な理由などで活動を引退した方も継続して会員になってくださっています。会員は広範囲におられ、宝塚市近郊の方だけでなく、遠くは神戸市垂水区からも来られています。参加のきっかけは「広報たからづか」でのお知らせと、遠方の方はハイキングなどで活動地を通りかかった時に興味を引かれ、参加する方が多いそうです。集まったのは桜が好きで、体を動かすことが好きな方々。参加メンバーはシニアが多く、中には80歳代の方も現役で活動中です。活動は自由参加形式なので、当日までメンバーの誰が来るか分かりません。そんな自分のペースで参加できるという緩やかさが、長く続けていける秘訣なのかもしれません。

「仲間と一緒にやりがいを持って取り組んでいる」

訪問した11月23日は小春日和の穏やかな日でした。この日は26人が集合。入会を考える女性が体験参加に来られ、近藤さんがずっと一緒についておられました。まず、主要な場所を案内しながら、桜の園の成り立ちや取り組み内容、樹木の特徴などを説明後、道具の使い方や太い幹を切り倒す時のコツ、注意点についても説明されていました。その様子は、初めての方が不安のないよう、活動をするための心遣いを感じました。

斜面では、メンバーの皆さんが足元の悪い中を移動しながら手際よく間伐作業されていました。その姿は年齢を感じさせません。「体力的なしんどさはあるが、参加しない方が体の調子が良くない」とメンバーの方は言います。その言葉が表すように、作業終了後の皆さんの表情は晴れやかでした。心地よい疲れの中、好きなことが環境保全に役立っているというやりがいと、そして一緒に喜べる仲間がいること。それが継続の原動力になっているのだと感じました。



初参加の方も間伐作業にチャレンジ



伐った大木を手分けして自然に還していく

櫻守の会 連絡先 E-Mail: kondo3410@moon.cims.jp
Web: <https://www.sakuramori.net/>